資料 5-2-2

(再評価)

令和2年度 第1回 関東地方整備局 事業評価監視委員会

# 一般国道18号 長野東バイパス

令和2年7月30日 国土交通省 関東地方整備局

# 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B P・そ の他の別
一般国道18号	長野東バイパス	L=2.8km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
26, 500~28, 800	4	関東地方整備局

# ① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年		令和2年度	
単純合計	211億円	55億円	266億円
うち残事業分	63億円	55億円	118億円
基準年における 現在価値(C)	248億円	19億円	267億円
うち残事業分	54億円	19億円	73億円

# ② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計		
基 準 年		令和2年度				
供 用 年		令 和	9 年 度			
単年便益 (初年便益)	16億円	2.3億円	1.1億円	20億円		
基準年における 現在価値(B)	252億円	36億円	16億円	304億円		
うち残事業分	252億円	36億円	16億円	304億円		

### ③ 結 果

費用便益比(事業全体)	1. 1
経済的純現在価値(事業全体)	37 億円
経済的内部収益率 (事業全体)	4. 5%
費用便益比(残事業)	4. 2
経済的純現在価値(残事業)	231 億円
経済的内部収益率(残事業)	18. 6%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

# ④ 感 度 分 析 (事業全体を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	26,500~28,800 (台/日)	±10%	1.02~1.4
事業費	211億円	±10%	1.1~1.2
事業期間	27年	±20%	1.05~1.2

### ④ 感 度 分 析 (残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	26,500~28,800 (台/日)	±10%	3. 7 <b>~</b> 5. 1
事業費	63億円	±10%	3.9 <b>~</b> 4.5
事業期間	6年	±20%	3. 9 <b>~</b> 4. 3

### 交通状況の変化

# 事業名:長野東バイパス(事業全体・残事業)

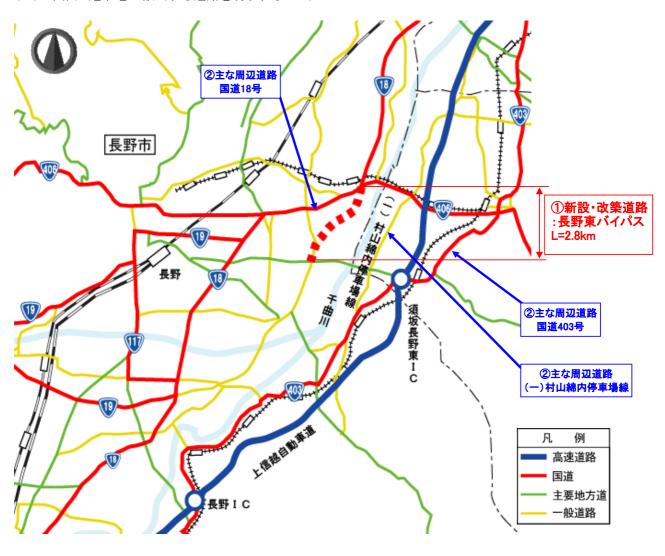
(推計時点 R12年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
		交通量※1	[台/日]	-	28, 400
	·改築道 .8km	走行時間※2	[分]	-	3
		走行時間費用※3	[億円/年]	-	15. 10
	国道18	交通量	[台/日]	24, 600	18, 000
	号: 4.9km	走行時間	[分]	7	6
		走行時間費用	[億円/年]	32. 99	21. 00
–	国送402	交通量	[台/日]	14, 700	13, 400
②主な周 辺道路 <sup>※4</sup>	国道403 号: 2.8km	走行時間	[分]	4	4
	2.8KM	走行時間費用	[億円/年]	11. 97	10. 79
	(一)村 山綿内停 車場線:	交通量	[台/日]	7, 000	1, 000
		走行時間	[分]	1	1
	0.6km	走行時間費用	[億円/年]	1. 26	0. 17
③その他 1,243	道路合計: 3.0km	走行時間費用	[億円/年]	1, 627. 32	1, 610. 27

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計:1,254.1km	走行時間短縮便益	[億円/年]	1, 673. 54	1, 657. 33	16. 21

<sup>※</sup>四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

#### (2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



# 費用便益分析の条件

事業名: 長野東バイパス (2)

	チェック欄		
		費用便益分析マニュアル	
	算出マニュアル	(平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	
		その他	
		分析対象期間	50年間
5.	}析の基本的事項	社会的割引率	4%
		基準年次	令和2年
	交通流の	1時点のみ推計	<b>■</b> (R12)
	推計時点	複数時点での推計	
		整備の有無それぞれで交通流を推計	
	推計の状況	整備の有無のいずれかのみ推計	口有 口無
	1年前 071人が	いずれかのみ いずれかのみの推計とした理由を記載 の推計の場合	
	1// = 1 > 1	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	■ (H22センサス)
	推計に用いた OD表	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	
		その他( )	
交		無	
通	開発交通量の 考慮	有	
流		考慮した開発交通量(トリップ数)	 ( )台トリップ/日
推計		有の場合のみ考慮した理由を記載	
		Q-V式を用いた配分	
		転換率式を用いた配分	
		Q-V式と転換率式の併用による配分	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	
	配分交通量の	簡易手法	
	推計手法		
		簡易手法の <sub>採択理由</sub> 山間部海岸部で併行道路が少ない	
		その他(	
		簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
		その他( )	
		各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け	_
		して設定	
	\+ \ <del>+ =</del> 1. <del>+</del> 0	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通系路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益質	
	速度設定の	の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	考え方	最終配分の速度	
		採用理由を記載	-
		その他( )	

			項目	チェック欄
		考慮しない		
		考慮する		
]	休日交通の		面的に考慮	
	トロン地の 影響	土电子ス	対象路線のみ考慮	
	<b>彩</b> 音	考慮する 場合のみ	採用した休日係数	( ) %
•	1	物ロツッ	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考えた	方を記載
	L	<u> </u>		
		考慮しない		
	1	考慮する		
•	災害等による		採用した通行止め日数	
	通行止めの	1	採用した通行止め日数の考え方を記載	1
	影響	考慮する		·
	<b>√√</b> □	場合のみ	とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合	
	1		とり止め交通を考慮しない場合はその埋田、	はその考え万を記載
	<u> </u>	<del>                                     </del>		<del></del>
		考慮しない		<u> </u>
	1	考慮する		<u> </u>
	なまさる		採用した冬期日数	
便	冬期交通の	<u> </u>	採用した冬期日数の考え方を記載	
益	影響	考慮する 場合のみ		
の	1	あっいか	冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
の算定	1		設定の考え力で記載 	
定	 交通流推計の	ブロック別・『	」 車種別走行台キロの伸び率による設定	T
		その他	芦笙別にリロコロツけい十にのの以入	
			析マニュアルの値を使用	
		独自に設定し		
	価値原単位	<u> </u>	ンに限る区内	
	四位水十六			
		費田便益分;	析マニュアルの値を使用	T
		独自に設定し		<del></del>
	経費原単位	からてんべく	万に旧で区川	
	VI 又 // > →   →			
	交通事故減少	中央分離帯(	の有無を考慮	
	便益算定	中央分離帯(	の有無を考慮しない	
	走行時間短縮・走	考慮しない	17 Film C 17 MEC 0-1	<u> </u>
		考慮する	-	
	事故減少以外の便		、算出根拠を添付すること)	<u> </u>
	益			
	 その他			
	1			
	1			

事業名: 長野東バイパス (4)

			項目	チェック欄			
		詳細事業計画	回による値を採用				
	事業費	標準投資パターンを採用					
		その他(概略	事業計画による値を採用				
	維持管理費	維持管理費の設					
		当該区間を管	<u> 「轄する事務所における直轄国道の維持管理費」</u>	実績に基づき算出			
	雪寒費	積雪地域また	とは寒冷地域である				
弗		考慮しない					
費用		考慮する					
の	\\\ = <del>\</del> \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		事業費を考慮				
の算定	当該道路整備が		維持管理費を考慮				
定	行われない場合 の費用	考慮する	当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を	上記載(対策内容、費用等)			
		場合のみ					
	7.0 //						
	その他						
1	その他						
4.	ての他						

箇所名:長野東バイパス(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む) 単価(億円) 延長(km) 単純価値(億円)

						<u>車価(息円)</u> 0.44	<u>延長(Kill)</u> 2.8	单純価値(息円) 1.22
			割戻率	GDP	事業費		維持管理	
年次	年		0.1011	デフレータ	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
	H	12	2.1911 2.1068	113.8 112.4	0.48 0.57	0.94		
	Н	13 14	2.0258	110.5	0.37	1.10 0.90		
	Н	15	1.9479	109.0	0.74	1.36		
-23年目	Н	16	1.8730	107.9	4.71	8.40		
-22年目	Н	17	1.8009	106.7	0.96	1.66		
-21年目	Н	18	1.7317	105.9	3.40	5.71		
<u>-20年目</u>	Н	19	1.6651	105.0	6.01	9.80		
<u>-19年目</u>	Н	20	1.6010	104.4	10.88	17.16		
<u>-18年目</u>	Н	21	1.5395	103.0	10.49	16.12		
<u>---17年目</u> -16年目	H	22	1.4802	101.3	21.51	32.32		
—————————————————————————————————————	H	23 24	1.4233 1.3686	99.8 99.0	4.55 10.85	6.68 15.41		
—————————————————————————————————————	Н	25	1.3159	99.0	6.75	9.22		
-13年目	H	26	1.2653	101.5	6.57	8.42		
-12年目	Н	27	1.2167	103.0	2.97	3.61		
-11年目	Н	28	1.1699	102.8	7.08	8.28		
-10年目	Н	29	1.1249	102.9	5.83	6.56		
<u>-9年目</u>	Н	30	1.0816	102.8	3.61	3.91		
<u> </u>	R	1	1.0400	102.8	18.45	19.19		
<u> </u>	R	2	1.0000	102.8	21.12	21.12		
-6年目 -5年目	R	3 4	0.9615 0.9246	102.8 102.8	6.88 12.08	6.62 11.17		
	R R	5	0.9246	102.8	10.91	9.70		
—————————————————————————————————————	R	6	0.8548	102.8	10.91	9.70		
	R	7	0.8219	102.8	10.91	8.97		
一1年目	R	8	0.7903	102.8	10.91	8.62		
供用開始年次	R	9	0.7599	102.8			1.11	0.84
1年目	R	10	0.7307	102.8			1.11	0.81
2年目	R	11	0.7026	102.8			1.11	
3年目	R	12	0.6756	102.8			1.11	0.75
4年目 5年目	R R	13 14	0.6496 0.6246	102.8 102.8			1.11 1.11	
5年日 6年目	R	15	0.6006	102.8			1.11	
7年目	R	16	0.5775	102.8			1.11	
8年目	R	17	0.5553	102.8			1.11	0.62
9年目	R	18	0.5339	102.8			1.11	0.59
10年目	R	19	0.5134	102.8			1.11	0.57
11年目	R	20	0.4936	102.8			1.11	0.55
12年目	R	21	0.4746	102.8			1.11	0.53
13年目	R	22	0.4564	102.8			1.11	
14年目	R	23	0.4388	102.8			1.11	
15年目	R	24	0.4220	102.8			1.11	
<u>16年目</u> 17年目	R R	25 26	0.4057 0.3901	102.8 102.8			1.11 1.11	0.45 0.43
18年目	R	27	0.3751	102.8			1.11	0.43
19年目	R	28	0.3607	102.8			1.11	0.40
20年目	R	29	0.3468	102.8			1.11	0.38
21年目	R	30	0.3335	102.8			1.11	0.37
22年目	R	31	0.3207	102.8			1.11	
23年目	R	32	0.3083	102.8			1.11	
24年目	R	33	0.2965	102.8			1.11	
25年目	R	34	0.2851	102.8			1.11	
26年目 27年目	R	35	0.2741 0.2636	102.8			1.11	
28年目	R R	36 37	0.2534	102.8 102.8			1.11 1.11	
29年目	R	38	0.2437	102.8			1.11	
30年目	R	39	0.2343	102.8			1.11	
31年目	R	40	0.2253	102.8			1.11	
32年目	R	41	0.2166	102.8			1.11	
33年目	R	42	0.2083	102.8			1.11	0.23
34年目	R	43	0.2003	102.8			1.11	0.22
35年目	R	44	0.1926	102.8			1.11	
36年目 37年目	R R	45 46	0.1852 0.1780	102.8 102.8			1.11 1.11	
38年目	R	47	0.1780	102.8			1.11	
39年目	R	48	0.1712	102.8			1.11	
40年目	R	49	0.1583	102.8			1.11	
41年目	R	50	0.1522	102.8			1.11	
42年目	R	51	0.1463	102.8			1.11	
43年目	R	52	0.1407	102.8			1.11	
44年目	R	53	0.1353	102.8			1.11	
45年目	R	54	0.1301	102.8			1.11	0.14
46年目	R	55 56	0.1251	102.8			1.11	
47年目 48年目	R R	56 57	0.1203	102.8			1.11 1.11	
48年日 49年目	R	58	0.1157 0.1112	102.8 102.8	-39.23	-4.36	1.11	
	11	JÖ	0.1112	102.0	171.39	247.90	55.45	
						£ 77.00		. 0.00
単純事業費計					210.61		55.45	

注1)事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

箇所名:長野東バイパス(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む) 単価(億円) 延長(km) 単純価値(億円)

					0.44	<u>延長(KIII)</u> 2.8	<u> </u>
		割戻率	GDP	事業費		維持管理	費(億円)
年次	年度		デフレータ	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
<u> </u>	H 12	2.1911	113.8				
	H 13	2.1068 2.0258	112.4 110.5				
	H 15	1.9479	109.0				
-23年目	H 16	1.8730	107.9				
<u> </u>	H 17	1.8009	106.7				
 -21年目	H 18	1.7317	105.9				
-20年目	H 19	1.6651	105.0				
-19年目	H 20	1.6010	104.4				
-18年目	H 21	1.5395	103.0				
-17年目	H 22	1.4802	101.3				
-16年目	H 23	1.4233	99.8				
-15年目	H 24	1.3686	99.0				
<u> </u>	H 25	1.3159	99.0				
<u> </u>	H 26	1.2653	101.5				
<u>-12年目</u> -11年目	H 27	1.2167 1.1699	103.0 102.8				
	H 29	1.1249	102.8				
	H 30	1.0816	102.8				
-8年目	R 1	1.0400	102.8				
<u> </u>	R 2	1.0000	102.8				
	R 3	0.9615	102.8	6.88	6.62		
<u> </u>	R 4	0.9246	102.8	12.08	11.17		
一4年目	R 5	0.8890	102.8	10.91	9.70		
一3年目	R 6	0.8548	102.8	10.91	9.33		
-2年目	R 7	0.8219	102.8	10.91	8.97		
<u> </u>	R 8	0.7903	102.8	10.91	8.62		
供用開始年次	R 9	0.7599	102.8			1.11	0.84
1年目	R 10	0.7307	102.8			1.11	0.81
2年目	R 11	0.7026	102.8			1.11	0.78
3年目	R 12	0.6756	102.8			1.11	0.75
<u>4年目</u> 5年目	R 13	0.6496 0.6246	102.8 102.8			1.11 1.11	0.72 0.69
6年目	R 15	0.6006	102.8			1.11	0.67
7年目	R 16	0.5775	102.8			1.11	0.64
8年目	R 17	0.5553	102.8			1.11	0.62
9年目	R 18	0.5339	102.8			1.11	0.59
10年目	R 19	0.5134	102.8			1.11	0.57
11年目	R 20	0.4936	102.8			1.11	0.55
12年目	R 21	0.4746	102.8			1.11	0.53
13年目	R 22	0.4564	102.8			1.11	0.51
14年目	R 23	0.4388	102.8			1.11	0.49
15年目	R 24	0.4220	102.8			1.11	0.47
16年目	R 25	0.4057	102.8			1.11	0.45
17年目	R 26	0.3901	102.8			1.11	0.43
18年目	R 27	0.3751	102.8			1.11	0.42
19年目	R 28	0.3607	102.8			1.11	0.40
20年目	R 29	0.3468	102.8			1.11	0.38
<u>21年目</u> 22年目	R 30	0.3335 0.3207	102.8 102.8			1.11 1.11	0.37 0.36
23年目	R 32	0.3083	102.8			1.11	0.34
24年目	R 33	0.2965	102.8			1.11	0.34
25年目	R 34	0.2851	102.8			1.11	0.32
26年目	R 35	0.2741	102.8			1.11	0.30
27年目	R 36	0.2636	102.8			1.11	0.29
28年目	R 37	0.2534	102.8			1.11	0.28
29年目	R 38	0.2437	102.8	-		1.11	0.27
30年目	R 39	0.2343	102.8			1.11	0.26
31年目	R 40	0.2253	102.8			1.11	0.25
32年目	R 41	0.2166	102.8			1.11	0.24
33年目	R 42	0.2083	102.8			1.11	0.23
34年目	R 43	0.2003	102.8			1.11	0.22
35年目	R 44 R 45	0.1926	102.8			1.11	0.21
36年目 37年目	R 45 R 46	0.1852 0.1780	102.8 102.8			1.11 1.11	0.21 0.20
38年目	R 47	0.1780	102.8			1.11	0.20
39年目	R 48	0.1712	102.8			1.11	0.18
40年目	R 49	0.1583	102.8			1.11	0.18
41年目	R 50	0.1522	102.8			1.11	0.17
42年目	R 51	0.1463	102.8			1.11	0.16
43年目	R 52	0.1407	102.8			1.11	0.16
44年目	R 53	0.1353	102.8	-		1.11	0.15
45年目	R 54	0.1301	102.8			1.11	0.14
46年目	R 55	0.1251	102.8			1.11	0.14
47年目	R 56	0.1203	102.8			1.11	0.13
48年目	R 57	0.1157	102.8			1.11	0.13
49年目	R 58	0.1112	102.8	-1.08	-0.12	1.11	0.12
合 計			<u> </u>	61.52	54.28	55.45	18.83
単純事業費計				62.60		55.45	

注1)事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

**箇所名:長野東バイパス(事業全体・残事業)** 

計 (億円) 現在価値 割引率4% 19.64 19.62 19.59 19.56 19.45 19.09 18.86 18.74 18.74 18.50 18.39 18.17 17.92 17.98 17.68 17.78 17.73 17.73 16.70 16.80 16.70 15.21 15.09 14.97 便益合計 事故減少便益(億円) 現在価値  $\begin{array}{c} 0.00 \\ 0.$ 0.78 0.095
0.091
0.091
0.091
0.091
0.092
0.093
0.023
0.023
0.023
0.023
0.023 現在価値 2.230 2.230 2.230 2.222 2.222 2.222 2.222 2.222 2.223 2.233 1.91 1.89 1.86 1.85 1.85 1.82 1.81 走行経費減少便益(億 0.17 0.16 0.16 0.16 0.15 0.15 0.15 0.17 0.099
0.099
0.099
0.099
0.094
0.094
0.094
0.094
0.094
0.098
0.098
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088 11.40 10.95 10.46 10.00 現在価値 16.25 16.27 17.28 走行時間短縮便益( 5.29 5.28 5.27 5.27 5.26 2.2.36 2.2.22 2.2.22 2.2.22 2.2.21 2.2.10 2.0.10 2. 1.29 8.43 8.336 8.236 8.21 8.21 7.29 7.79 7.70 8.54 8.52 8.50 8.50 6.04 5.97 GDP ∓´7√−\$ 102.8 102.8 102.8 102.8 102.8 102.8 02.8 割戻率 0.4564 0.438 99116 99194 99188 99174 99167 99160 99153 99139 99131 99100 98970 9918 9908 9907 9906 9904 9903 9924 9923 9922 9921 9921 9920 6066 9903 9902 066 9901 9899 8686 99904 99904 99903 00635 00631 99904 99904 99903 99903 99903 99902 99902 99902 99902 99902 0.99903 .0666 0666 3666 3666 0666 0666 0666 0666 9990 0. 98946 0. 98935 0. 98923 0. 98912 0. 98887 0. 98875 0. 98862 0. 98849 0. 98849 99778 98918 . 99141 99134 . 99126 99066 98963 98952 0906698741 99051 98941 98801 98787 9881 991 年 藤<sup>維</sup>年 R2 40年目 41年目 43年目 43年目 45年目 46年目 47年目 47年目 48年目 39年目

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道18号	長野東バイパス	4	2.8km

### ■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費	①工事費				13,250	
	改良費	_			8,930	
		土工	m3	225,220	771	切土、盛土
		軟弱地盤改良工	式	1	3,761	
		法面工	m2	3,050	4	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	650	補強土壁、重力式擁壁、逆T式擁壁等
		函渠工	m	857	228	
		排水工	m	8,120	314	
		中央分離帯工	m	3,250	145	
		雑工	式	1	3,057	機能補償道路・貯留槽等・電線共同溝・埋蔵文化財調査
	橋梁費				3,348	
		100m以上	m	350	2,048	連続高架橋1橋
		100m未満	m	118	1,300	橋4橋
	トンネル費	Ì				
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC·JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				928	
		車道舗装	m2	57,260	871	
		歩道舗装	m2	17,030	57	
	付帯施設	費			44	
		交通管理施設工	式	1	44	標識工、防護柵工等
		遮音壁	m			
②用地及補	②用地及補償費				6,371	
	用地費		m2	101,500	3,923	
		宅地	m2	38,170	1,718	
		田畑	m2	54,330	1,575	
		その他	m2	9,000	631	
	補償費		式	1	2,448	
③間接経費	Ì		式	1		地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費	Ì				22,492	

#### 【単価等について】

- 〇工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 〇用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道18 <del>号</del>	長野東バイパス	4	2.8km

# ■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費	①工事費				5,621	
	改良費				2,326	
		土工	m3	32,033	110	切土、盛土
		軟弱地盤改良工	式	1	371	
		法面工	m2	899	1	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	350	補強土壁、重力式擁壁、逆T式擁壁等
		函渠工	m	253	67	
		排水工	m	1,982	77	
		中央分離帯工	m	3,250	145	
		雑工	式	1	1,205	機能補償道路·水路等
	橋梁費				2,914	
		100m以上	m	350	2,048	連続高架橋1橋
		100m未満	m	79	866	橋4橋
	トンネル費	<u> </u>				
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC·JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				368	
		車道舗装	m2	20,640	314	
		歩道舗装	m2	16,060	54	
	付帯施設				13	
		交通管理施設工	式	1	13	標識工、防護柵工等
_		遮音壁	m			
②用地及裤					176	
	用地費		m2	10,813	108	
		宅地	m2	7,088	48	
		田畑	m2	725	43	
	1.15 (246 -++-	その他	m2	3,000	18	
	補償費		式	1	68	
③間接経費			式	1		地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費	Ī				6,875	

#### 【単価等について】

- 〇工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 〇用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

参考様式2

### 全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道18号	長野東バイパス	4	2.8km

# ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	2.8	1,250	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	4,850	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			6,100	

#### 【単価等について】

〇維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。



2 道建第 60 号 令和 2 年 (2020 年) 7 月 20 日

国土交通省 関東地方整備局長 様

長 野 県 知



関東地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の 作成に係る意見聴取について(提出)

令和2年7月9日付け国関整企画第30号で依頼のありました標記について、別紙のとおり回答を提出します。



### (再評価)

【道路事業】

【退岭争未】		
事業名	「対応方針(原案)」 案※	長野県知事の意見
一般国道18号 長野東バイパス	継続	一般国道18号は、本県及び国土の骨格となる重要な道路であり、「長野東バイパス」は、地域における交通の安全・円滑化、救急医療施設へのアクセス性向上、観光の活性化に必要不可欠な事業です。 ついては、事業を継続し、積極的な予算確保と早期完成に向けた事業の推進を強く要望します。 また、事業の実施にあたっては、一層のコスト縮減に努められるようお願いします。

<sup>※</sup>貴職の意見を踏まえ、関東地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。